

バイブルの愛

～永遠の命～

2019.3月

発行：堺市東区南野田 364-7
北野田キリスト教会 牧師：丸岡
(駅から3分、線路沿い)
TEL 072-235-0522
kitanoda@wonder.ocn.ne.jp
<http://www.kitanoda.net>



「はじめに神は天と地とを創造された。…神は『光あれ』と言われた。すると光があった。…神はその光とやみとを分けられた。神は光を昼と名づけ、やみを夜と名づけられた。夕となり、また朝となった。第一日である」 (旧約聖書：創世記 1:5)

「…最初の日においても、光と闇とが 時の世界を分ったのであった… それならば、人の境遇においても繁栄の日光から 逆境の夜中への 変化があっても怪しむに足るまい。…昇る歓喜の太陽のために神をほめよ。そして垂れこむる夕べの小暗さのためにも神を賛美せよ。日の出も日没も共に美しい。それを歌え。…夜も昼と同じく必要であることを信ぜよ。…なんじの老いと死の黄昏は忍び寄る。恐るな、それは一日の一部である。しかも主はおおせたもう『われ終日彼をおおわん』と。」(C・H・スポルジョン)



「死は勝利にのまれてしまった。死よ、おまえの勝利は、どこにあるのか。死よ、おまえのとげは、どこにあるのか。…感謝すべきことには、神はわたしたちの主イエス・キリストによって、わたしたちに勝利を賜ったのである。」(聖書)

「なんじの老いと死の黄昏は忍び寄る。恐るな…」 だれでも、老いと死については、恐れと不安があるものですが、神様は「恐れるな」と言って下さいます。

死は、その先が分からないために恐れるのですが、イエス・キリストが十字架上で死を体験し、3日目によみがえられました。キリストは、神の前に人間の代表です。キリストが裁きの死を受けられたことが、私たちの裁きの死でありました。その死からよみがえられたことで、私たちの死の向こうにも、よみがえりがあるということなのです。聖書には「わたしたちすべては、眠り続けるのではない。…またたく間に、一瞬にして変えられる。…死人は朽ちない者によみがえらされ、わたしたちは変えられるのである！」とあります。だから、キリストにあるならば、老いも死も恐れることはないのです。その向こうに望みをおいて、乗り越えることができるのです。

(裏面もどうぞ……)

「神はわたしたちの罪のために、罪を知らないかたを罪とされた。

それは、わたしたちが、彼にあって神の義となるためなのである。」(聖書)

キリストが死なれたのは、私たち人間の代わりに、裁かれて下さった死だったのです。心に悪がない人間などひとりもいません。その悪を、人は裁けなくても、神が裁きます。しかしその裁きを、人間に代わってイエス・キリストが受けて下さいました。そして人間に、よみがえりと永遠の命を備えて下さったのです。「イエスは彼女に言われた『わたしはよみがえりであり、命である。わたしを信じる者は、たとえ死んでも生きる。..あなたはこれを信じるか』」(聖書) 信じて、ぜひ永遠の幸いを受けて下さい。

当キリスト教会では、下記のような集会用意しています。
ご自由にご参加下さい。

「春の陽伝道礼拝」ご案内 無料

2019・3・24 (日) 10:30~11:40

初めての方に分かりやすい、聖書のメッセージです。きれいな讃美やオルガンの音色も心とませてくれます。お気軽にお越し下さい。

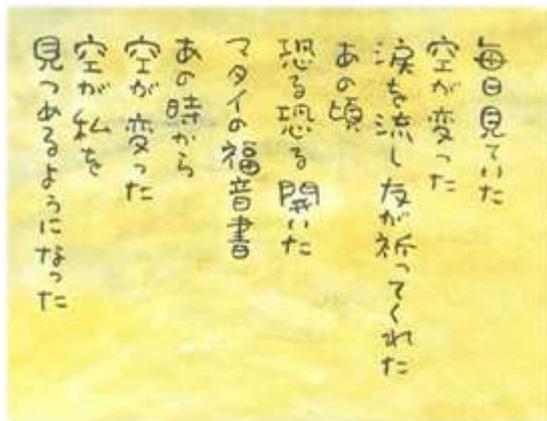
会場：駅から3分の
北野田キリスト教会

♪ 主日礼拝 日曜日 午前 10:30~11:40 (無料)
(第4週目は初めての方にも分かりやすい伝道礼拝)
3月は3/24日(第4日曜)です。

♪ 子どもチャペル 日曜日の午後 (無料)
親御さんも一緒に、ご参加下さい。
工作やゲームなど、楽しいプログラムもあります!



以下は、「キリストへの思いをペンに」
(星野富弘さん詩画集より)



思いきってイエス様の名をよび
聖書を開いてみました。そしたら
長い間苦しみがさがっていた私に
語りかけてくれることばに会うことが
出来ました。上をむいて寝ている私の眼に
うつるものは、天井の七十枚のベニヤ板
だけではなくなりました。その灰色の
ベニヤ板のつぎ目さえ私たちのために血を
流された十字架に思えます。楽しい時に
感謝し、心の沈んでいる時、名をよべる方が
今までになかったよろこびです。
主のおしえにしたがひ、苦しみにさえ感謝
出来る日の来ることを信じています。

思いきってイエス様の名をよび
聖書を開いてみました。そしたら
長い間苦しみがさがっていた私に
語りかけてくれることばに会うことが
出来ました。上をむいて寝ている私の眼に
うつるものは、天井の七十枚のベニヤ板
だけではなくなりました。その灰色の
ベニヤ板のつぎ目さえ私たちのために血を
流された十字架に思えます。楽しい時に
感謝し、心の沈んでいる時、名をよべる方が
今までになかったよろこびです。
主のおしえにしたがひ、苦しみにさえ感謝
出来る日の来ることを信じています。

駅から南へ3分、線路
沿い。P有。車でお
越しは、地図の通り、
西除け川を沿って。**カ
ーナビではなぜか無
理です。**ご注意下さ
い。 072-235-0522